

第2回加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォームワーキンググループ 議事要旨

1 日時：2024 年 7 月 11 日（木）午後 2 時から 3 時 45 分

2 場所：加茂市役所 3 階 301・302 会議室

3 出席者（敬称略、web 参加者含む。）

永山光夫（加茂商工会議所 まちづくり委員会 副委員長）

堀内大祐（加茂商工会議所 まちづくり委員会 委員）

涌井 陽（加茂市商店街協同組合（涌井金太郎商店））

萩野正和（株式会社 connel 代表取締役）

松井大輔（新潟大学工学部工学科 准教授）

高澤 浩（第四北越銀行 加茂支店 支店長）

水谷景子（第四北越銀行 加茂支店 主任）

山口 翼（第四北越銀行 加茂支店 主任）

小林 裕（加茂信用金庫 本店営業部 部長）

夏目一寿（加茂信用金庫 総合企画部 課長）

小林一隆（NST 新潟総合テレビ 情報制作本部 デジタルマーケティング部 部長）

市川恭嗣（加茂市 CSO）

中浜孝昭（新潟県三条地域振興局 地域整備部 計画専門員（総括））

落合 純（新潟経営大学 地域活性化研究所 所長）

青山 准（NTT 東日本 新潟支店 地域基盤ビジネス課長）

永井麻美（NTT 東日本 新潟支店 まちづくりコーディネート担当チーフ）

オブザーバー

宗村真斗（JR 東日本 新潟支社 企画総務部 経営戦略ユニット（地域交通・計画調整） 主任）

本間達朗（JR 東日本 新潟支社 企画総務部 経営戦略ユニット（地域交通・計画調整） 主務）

本保輝紀（Reterras 合同会社 代表）

横山 聡（加茂市スポーツ振興課 スポーツまちづくり推進ディレクター）

阿部 駿（加茂市観光協会 事務局長）

鈴木宏和（加茂市商工観光課観光係 係長）

小野慎太郎（加茂市建設課都市計画係 課長補佐）

和田丈裕（加茂市建設課都市計画係 主査）

事務局：加茂市政策推進課、(株)オリエンタルコンサルタンツ

4 議事

(1) 開会

(2) 未来ビジョンの構成案について

事務局より、資料3をもとに、未来ビジョンの構成について説明したのち、意見交換を行った。

【WG メンバー】資料は、前回より分かりやすくなった印象である。「具体的な取組」のポイントとして取り上げられているものに、まず手をつけて、未来ビジョンの実現に向かっていくことになる。ポイントにすべてが網羅されているわけではないため、このポイントでよいのかを確認したい。また、各ポイントの説明文や推進する主な取組として追加すべき要素がないか確認したい。

【WG メンバー】「具体的な取組」は、これまでのワーキンググループでの議論を踏まえて書かれているものと認識しているが、皆様が思いを込めた部分が抜けていたり、こだわっていた表現が変更されていたりしないかご意見をいただきたい。例えば、加茂川でオールシーズンを通じてインスタ映えするようにするというのはどこへ行ったのか、などのご意見がないか。

【WG メンバー】私は前回のワーキンググループに出られなかったが、予算に関する議論はしたのか。予算の有無によって取組を実施できるか決まってしまうように思う。

【事務局】前は、具体的な取組の実現にあたっての予算についての議論はしていない。

【WG メンバー】現在掲載されている取組が、難しい方向に進んでしまうのではないか。例えば、川床を作りたいと言っても、その先が進まないような気がしている。民間ができること、行政がサポートすること、金融機関がサポートすることなど、実現可能性のある方法を探らなければならないのではないか。また、県や国の交付金があるため、県や国の動きに合わせていくことはできないか。

【WG メンバー】事務局にて、「頑張れば手が届く」レベルの取組に絞り込んだうえで資料に掲載していると認識している。金融機関の支援も含め、それぞれの取組でファンディングが異なるため、それぞれそのとき検討すればよい。現段階で、実現可能性を厳しく検討し、推進する主な取組を絞りすぎるのはよくないと考えている。明らかに実現不可能な取組以外は現在の粒度でよいと思う。

【WG メンバー】 今後、未来ビジョンを公表し、新たな仲間を探すにあたって、推進する取組の表現が具体的すぎると人が集まりづらい。未来ビジョンは「ビジョン」の粒度で公開し、仲間を集めたうえで、エリアプラットフォームでサポートすると早く進むと思う。

【事務局】 個別具体の事業については、皆様と連携して、適切な資金組成の仕組みやあり方のベストを見出していきたいと考えている。推進する取組の表現の粒度については、WG メンバーのご指摘のとおり、ビジョンに対する大きい共感の枠組みの中で、新たな仲間を誘うことを意識している。取組を具体的にどう動かすかについては、今年度の下期で議論を進めたいと考えている。また、資金については、下期の早い段階に議論したい。市の支出、国・県の補助金の利用、金融機関からのサポート、クラウドファンディング、まちづくりファンドの創立などが考えられる。

【WG メンバー】 これまでは、「ありたい未来、ビジョン」と「そのために必要な取組」を議論してきた。アイディアと現状の差をどのように埋めるのか、という体制や仕組み、仲間探しについてはまだあまり議論できていない。今、ご指摘いただいた取組みの進め方や支援についての議論をしていかないと全体のイメージがつきづらいのかもしれない。

【WG メンバー】 たしかに、How の部分が見えないとプレイヤー探しが難しいというのはおっしゃるとおり。どこまで具体的な体制や仕組みを盛り込めるのか、今後検討の必要がある。

【WG メンバー】 仲間作りは、すでに動いている人をエリアプラットフォームでサポートするのが簡単なのではないかと。既存の取組の主体として資料4に掲載してある人たちに声をかければよいと思う。

【WG メンバー】 「つながり」のポイント3、4がプレイヤー探しに関する部分だと思う。新規のプレイヤーを発掘・育成することも重要だが、既存のプレイヤーにエリアプラットフォームに参画していただけるよう、窓口を広く設けることも重要である。未来ビジョンの表現については、まとまって見やすくなったが、まとまりすぎているような気がする。まとまりすぎているため、掲載してあること以外はやらないように見えてしまうのではないかと。もう少しゆとりがあるということを書くといい。

【事務局】 おっしゃるとおりである。皆様に誤解を招かないような整理の仕方を考える。

【WG メンバー】未来ビジョンで言いたいのは、おおざっぱに言えば、「まちなかに滞在する状況・滞在できる環境をつくろう」ということだと思う。これまで、日常と観光どちらを重視するのかを議論してきて、どちらかというと日常を重視しようということになった。具体的な取組は色々なものが考えられるが、その方向性に沿っていればよいと思う。

【事務局】実現を見据えてブレイクダウンしていったが、すべては「まちまるごと、みちのえき」に集約される。全体としての伝え方について、改めて気付かされた。

【WG メンバー】現在の未来ビジョン案から大きく修正する必要はないと思う。まずは、まちなかの居場所作りに取組んでみるのが重要である。

【WG メンバー】もちろん、観光事業を捨てるわけではない。それぞれが色々な立場で観光事業を展開されているが、まず皆で同じ方向を見て取り組むこととして、まちなかの環境づくりを位置付けたということである。

【WG メンバー】全体の構成について、資料の最初の方に「加茂駅周辺まちなかエリアの特性と課題」とあるが、書かれているのは課題が多い印象である。取組は、既存のアセットを輝かせるようなものが多いので、既存のアセットの魅力や価値、加茂市のよさを伝えることにウェイトを置いてもよいと感じた。市民には加茂市のよさを再発見していただき、市外の方には加茂市の魅力を伝えられるとよい。ワーキンググループでも、どんなアセットがあるか整理を行った。未来ビジョンの読者が、我々ワーキンググループのメンバーと同じ思考のプロセスを辿れるような構成がよいと思う。

【WG メンバー】そうなると、観光をやりたいなくなってしまうのではないか。

【WG メンバー】日常を磨き上げることが観光につながるという考え方だと思う。

【WG メンバー】加茂がどういうまちなかわからない人にとって、悪いところから始まるのではなく、まずはよいところを知ることができた方がよいということだと思う。

【事務局】取組一覧表について、よりイメージが伝わりやすいよう、短期・中期・長期でどのような取り組みを実現していくのかを掲載する形式に変更している。変更前のように、すべての取組を一覧で掲載する形式の方がよいという方はいるか。

【WG メンバー】現在の形式でよいと思う。

【事務局】承知した。いただいた意見をもとに、引き続き事務局にて資料を整理する。

（３）未来ビジョンの広報・情報発信について

【事務局】今後、未来ビジョンに関わる人たちをどう増やしていくのかを見据えて活動していく必要があると思っている。広報・情報発信に関するアイデアやご意見があれば伺いたい。

【WG メンバー】エリアプラットフォームの構成員は、店主や経営者が多い。そういった方々がイベントでの展示等を行うのは現実的ではないと考えている。新潟経営大学に、加茂の情報発信を行うサークル活動をしたいという学生がいると聞いている。また、新潟大学の「社会開放演習」や「フィールドスタディーズ」等の授業で、学生が加茂に入って活動している。「新潟大学ダブルホーム」の参加者も色々活動している。学生にお願いして情報発信をしていただくとよいのではないかな。学生にとっても、加茂で何をしているのかよりよく知る機会となる。

【WG メンバー】構想段階だとは存じているが、KAMO MACHINAKA BASE の加茂まちづくり研究室にて、エリアプラットフォームの取組を取り上げていただけるとありがたい。学生の目にも触れると思う。

【WG メンバー】plat KAMON さんも考えられる。

【WG メンバー】まちの雰囲気醸成していくことが重要である。プレイヤーの方だけではなく、広く一般市民の方にもこの取組を周知したい。今年度の「加茂まちづくりフォーラム」は、商工会議所が企画運営をご担当されていると伺っているが、未来ビジョンについて紹介するお時間をいただくことは可能か。

【WG メンバー】「加茂まちづくりフォーラム」の発表者は、これまでは大学生などが中心だったが、今年度は中学生の発表や工場見学なども予定されており、スケジュールがタイトである。簡単なものであればできなくはない。

【WG メンバー】全体を発表することは難しいかもしれないが、概略版として、誰にでもわかるような簡単な紹介を想定する。SNS での情報発信については、観光協会が現在発信している内容と親和性が高いと考えている。エリアプラットフォーム用に新規のアカウントを立ち上げるのではなく、観光協会のアカウントを活用させていただけないか。

【WG メンバー】観光協会のアカウントでの情報発信は可能である。

【WG メンバー】観光協会と商工観光課から情報発信していただければと思う。

【WG メンバー】承知した。色々な方に見ていただけるのでよいと思う。

【WG メンバー】WG メンバーから、事例等があればご紹介いただけないか。

【WG メンバー】仲間作りのうえでも情報発信は重要である。エリアマネジメントとは、価値の向上・価値の維持がなされている状態である。未来ビジョンの情報発信は、方向性を共有し、足並みを揃えることが目的となる。発信の中で大事なことは、取組の価値を伝えていくことである。発信しなくてもよいことはあえて発信しない。取組の認知度を上げるだけでなく、同じイメージを共有することが重要であり、かつ難しい。そのために必要なことを今後やれるとよい。

【WG メンバー】全体会の開催は8/6(火)である。前回開催から4、5 ヶ月経っており、新規に参加する方もいらっしゃる。それぞれの団体で、全体会参加者に現在の状況について伝えていただけるとありがたい。また、それ以外の方々にも、こんな未来ビジョンが策定されている、ということを伝えていただきたい。新潟経営大学の先生方にもご共有いただければありがたい。

【事務局】口コミは信頼性が高く、情報発信として非常に有効だと考える。知っている人同士の繋がりは何よりも大きいので、皆様の口コミでこの取り組みを広めていただきたい。また、事務局から未来ビジョンの紹介をしてほしいということがあれば、ぜひお声がけいただきたい。

(4) 事務連絡

【事務局】全体会は8/6（火）14 時開会を予定している。会場は本日と同じである。

(5) 閉会

以 上